

**特別支援教育の導入と  
その以後の日本の  
特殊教育サービス伝達体制の変化**

札幌市 Sapporo  
面積 1,121Km<sup>2</sup>  
総人口 1,889,352人

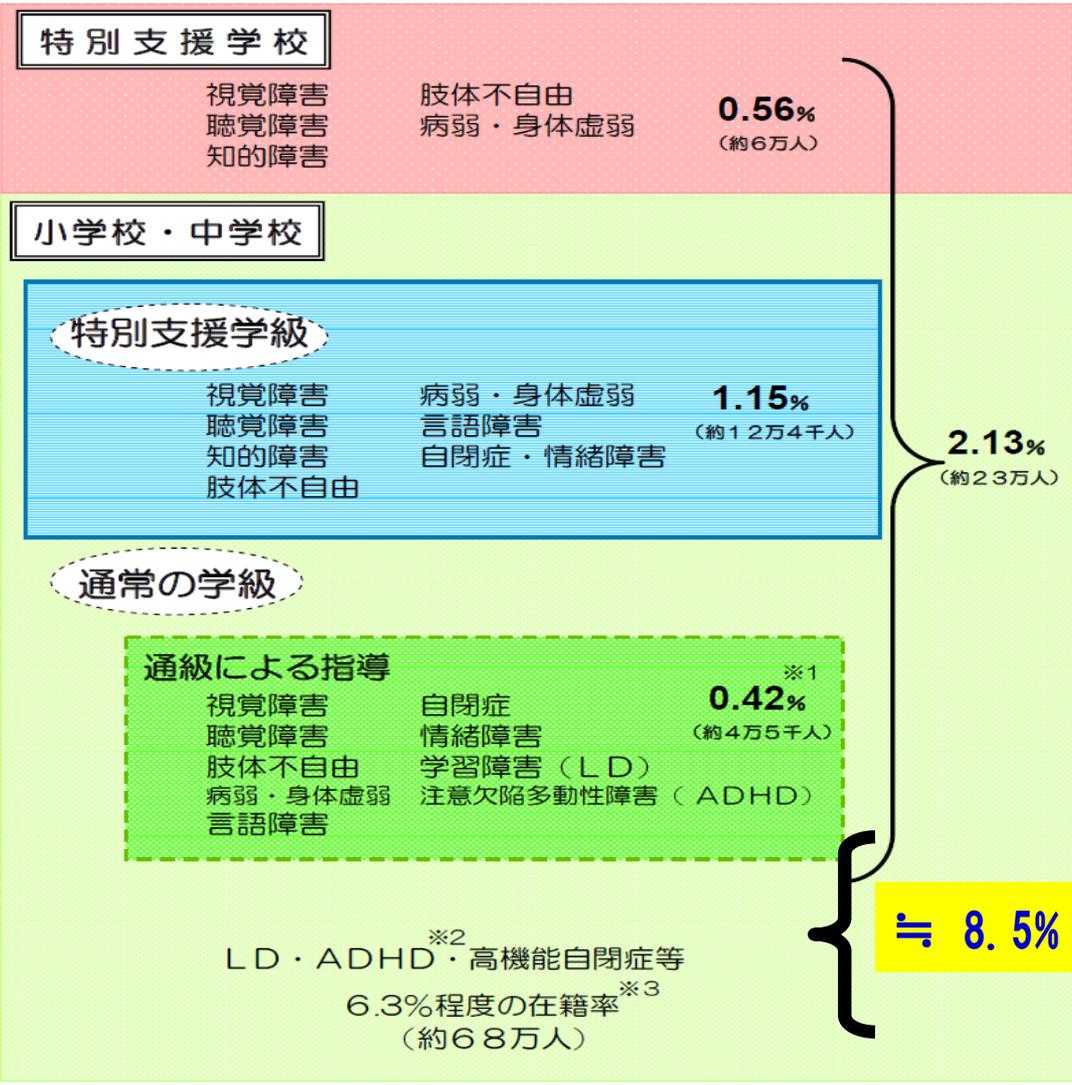




小・中学校段階

義務教育段階の全児童生徒数 1079万人

重  
↑  
障害の程度  
↓  
軽



特別支援学校

学校数	1,026校
幼児児童生徒数	112,334名
教職員数	83,824名

特別支援学級

学級数	40,004学級
児童生徒数	124,166名
担当教員数	42,603名

通級による指導

児童生徒数	49,685名
-------	---------

※1 平成19年5月1日現在の数値  
 ※2 LD (Learning Disabilities) : 学習障害  
 ADHD (Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder) : 注意欠陥多動性障害  
 ※3 この数値は、平成14年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではない。

(※1及び※3を除く数値は平成20年5月1日現在)

# 特別支援教育の新しい対象：発達障害

学習面や行動面で著しい困難を示している児童生徒 (6.3%)

学習面で著しい困難

4.5%

行動面で著しい困難

2.9%

DVD  
発達障害

学習面及び行動面の両方で著しい困難  
1.2%

2002年文部科学省調査

## 特別支援教育の新たな対象：発達障害



# 発達障害の定義

## 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。

7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

## それぞれの障害の特性

## 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

## 学習障害 (LD)

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。学習障害は、その要因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されますが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではありません。

## 学習障害 (LD)

## 高機能自閉症

高機能自閉症とは、3歳くらいまでに現れ、

- ①他人との社会的関係の形成の困難
  - ②言葉の発達の遅れ
  - ③興味や関心が狭く特定のものにこだわる
- ことを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいいます。

また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されます。(アスペルガー症候群とは、知的発達の遅れを伴わず、自閉症の特徴のうち、言葉の遅れを伴わないものをいいます。)

知的な遅れを伴う  
こともあります

## 自閉症

## 広汎性発達障害

## アスペルガー症候群

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動やこだわり

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用 (言語発達に比べて)



**特別支援教育制度の導入の  
これまでの流れ**

# 表1 歴史的な動向

## 特別支援教育

Inclusive  
Education

導 入

特別支援教育は、  
特別な支援を必要とする  
幼児児童生徒が在籍する  
全ての学校において  
実施されるものである。

国際的な  
圧力

障害児・者  
理解啓発  
差別禁止  
施策

幼稚園  
小学校  
中学校  
高等学校  
障害児教育  
施策

特別支援学校  
センター的機能

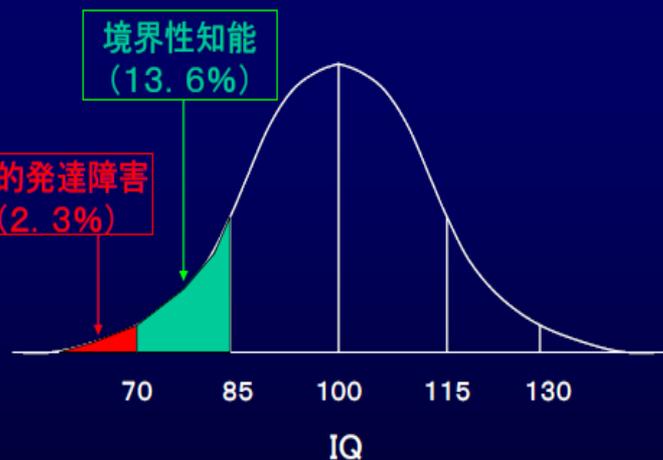
# 特別支援教育 対象児の増加

知的障害児の増加

障害者観の変化

いじめ、  
不登校の増加  
特殊教育の手厚さ

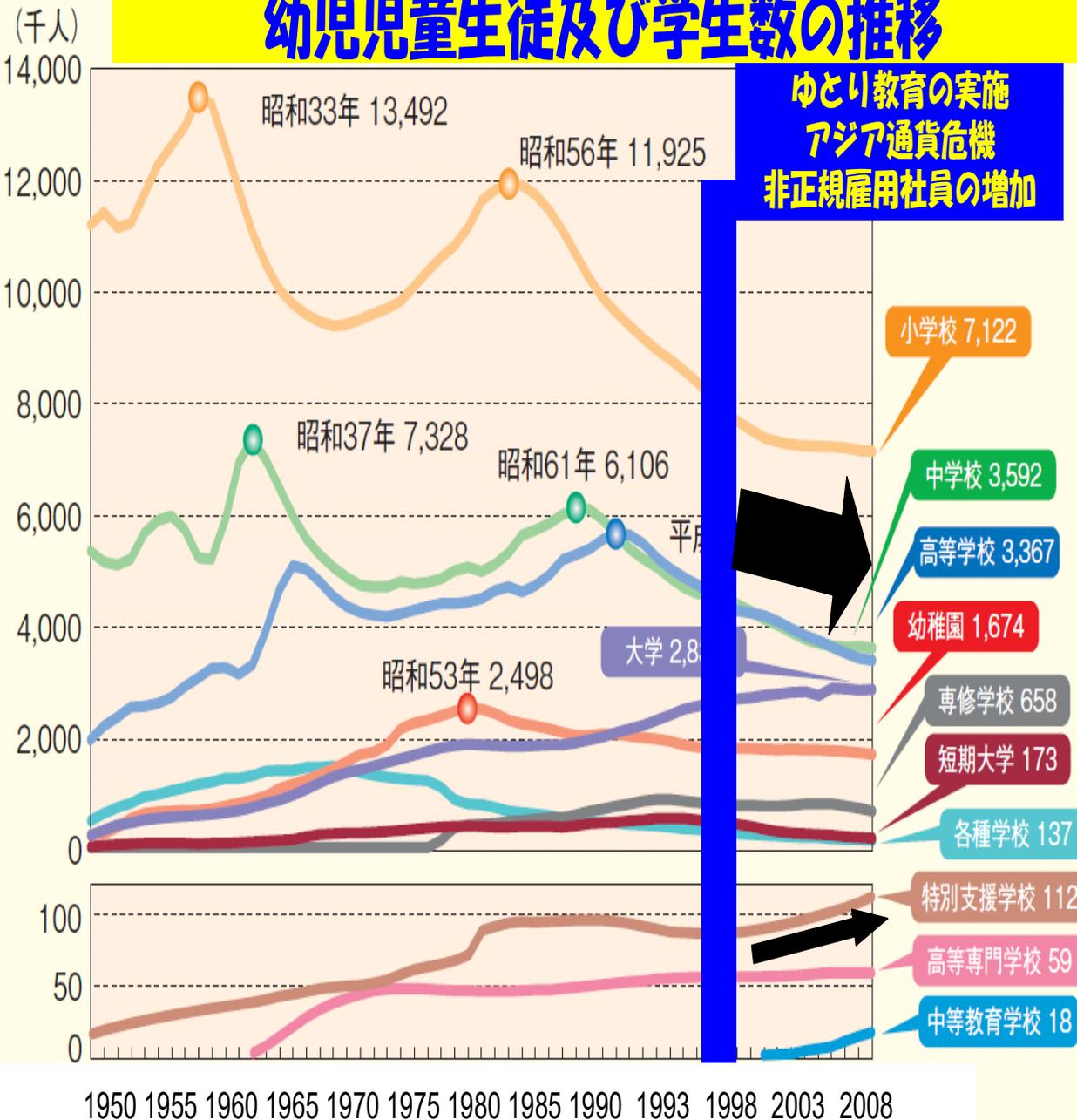
知能の分布



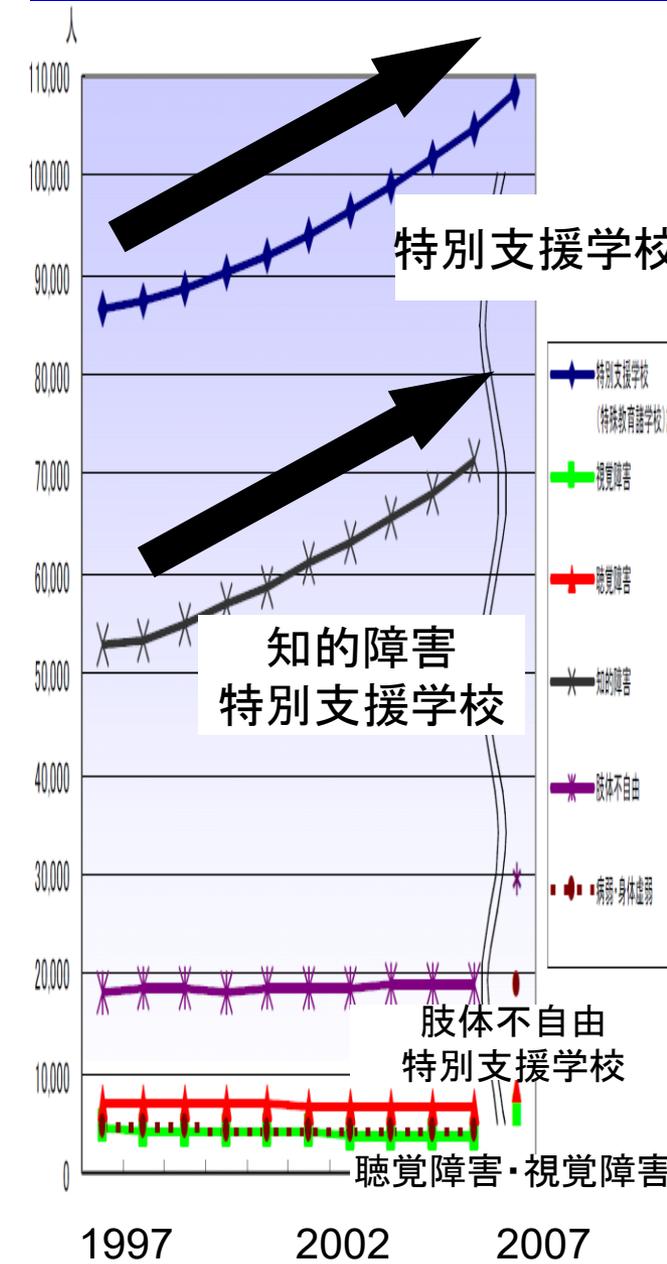
正規分布(平均100、標準偏差15)

# 家庭収入の減少

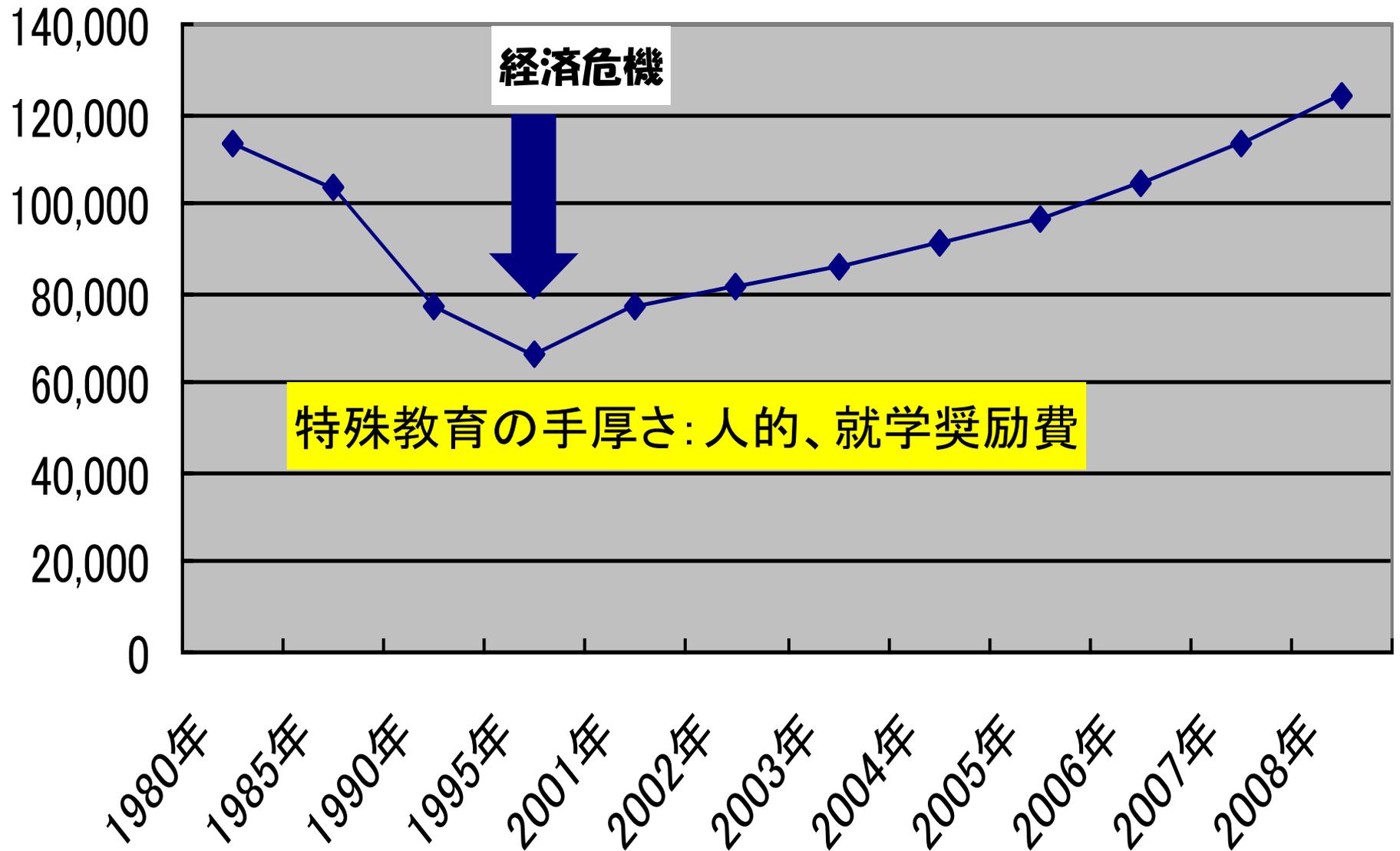
# 幼児児童生徒及び学生数の推移



# 特別支援学校 在籍者数



# 小学校・中学校特別支援学級児童生徒数の推移



# 障害者観の変化 障害児・者の理解認識の推進

## 金日明先生 ご来札

### 日韓知的障がい者サッカーフェスティバル

in SAPPORO

2009年8月22日(土)

～ 札幌厚別公園競技場が熱くなる ～

入場無料



VS



日本代表チーム  
日本代表(北海道)

韓国代表チーム  
韓国代表チーム

みんなで一緒に日韓戦を応援しよう!



平成21年8月22日(土)

試合開始11時00分 Kick off

場所：札幌厚別公園競技場

主催：日本ハンディキャップサッカー連盟

特定非営利活動法人 日本知的障害者サッカー支援機構

主管：北海道チャレンジドサッカー連盟

協力：財団法人 北海道サッカー協会

知的障害の人が  
障害のない人と  
同じ夢を持って  
生活できる世の中に

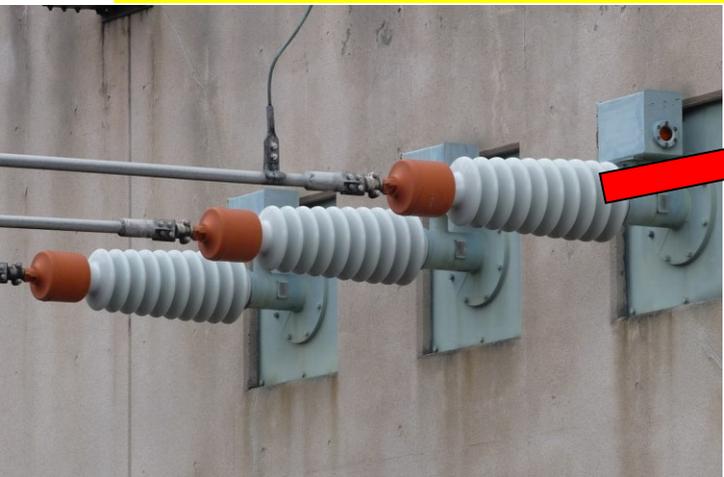
# 日韓知的障<sup>害</sup>者サッカーフェスティバル in SAPPORO

## 日韓知的障<sup>害</sup>者サッカーフェスティバル

障<sup>害</sup> → 1947年 障<sup>害</sup>

一般用語：がい

法律用語：害



礙子  
礙：  
さえぎる

害：  
悪い物



신문 기사

일본日本 1 — 4 韓国한국



# 盲人のための・障害者のための 国際シンボルマーク



壁面表示用

- B-005** 寸法: 100×100%
- B-006** 寸法: 150×150%
- B-007** 寸法: 300×300%



- 壁面表示用にはプライマー剤は不要です。
- アクリル製もあります。

壁面表示用

- B-008** 寸法: 120×150%
- B-009** 寸法: 240×300%



路面表示用

- B-010** 寸法: 300×300%
- B-011** 寸法: 600×600%
- B-012** 寸法: 600×900%



優先



- 路面用はプライマー剤は別途となります。
- 500g缶 / 300角の場合=約20枚
- 600角の場合=約5枚
- 材質特性についてはクリアランスシートの特性を参照。

掲示用

- B-013**
- B-014**



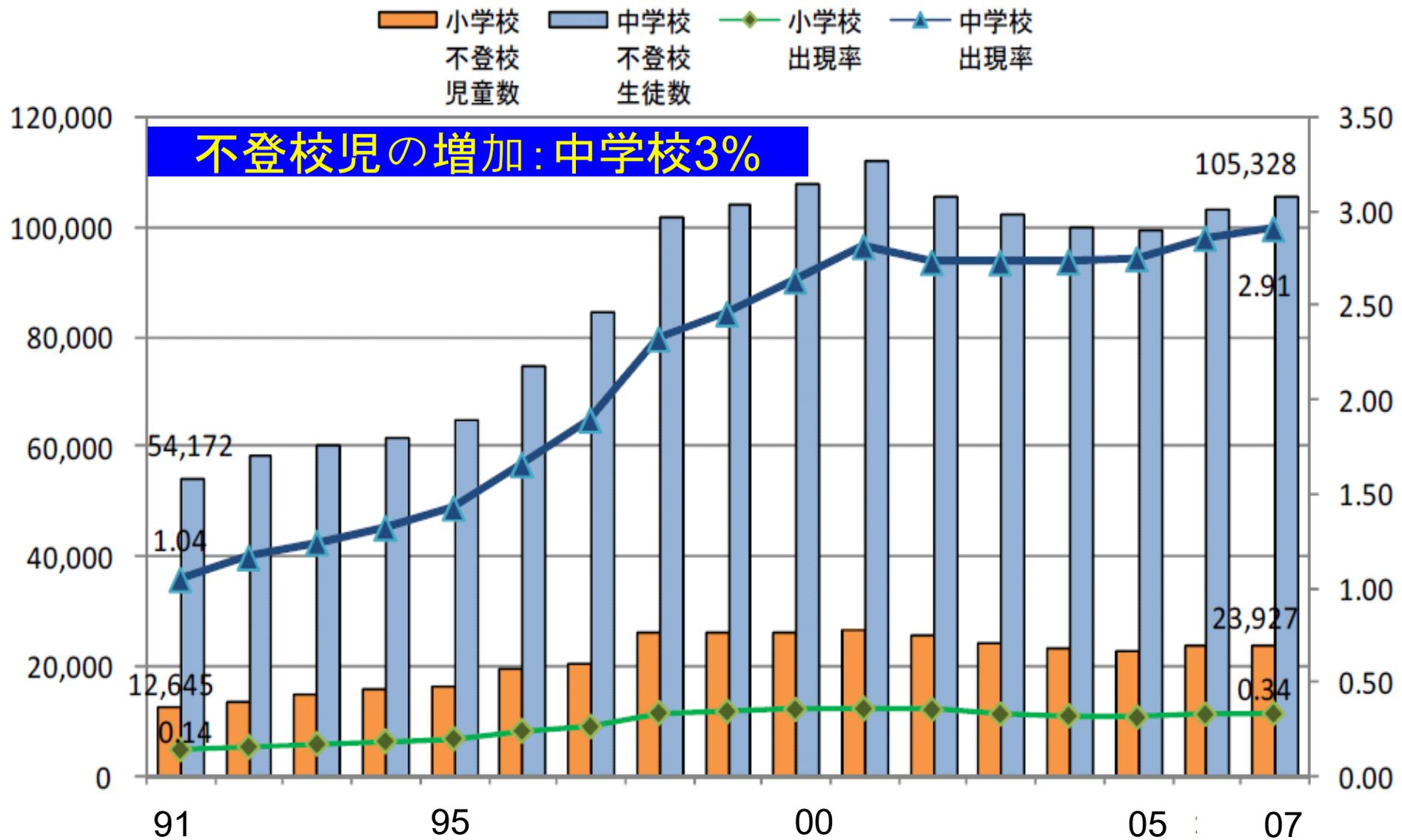
1970年当時

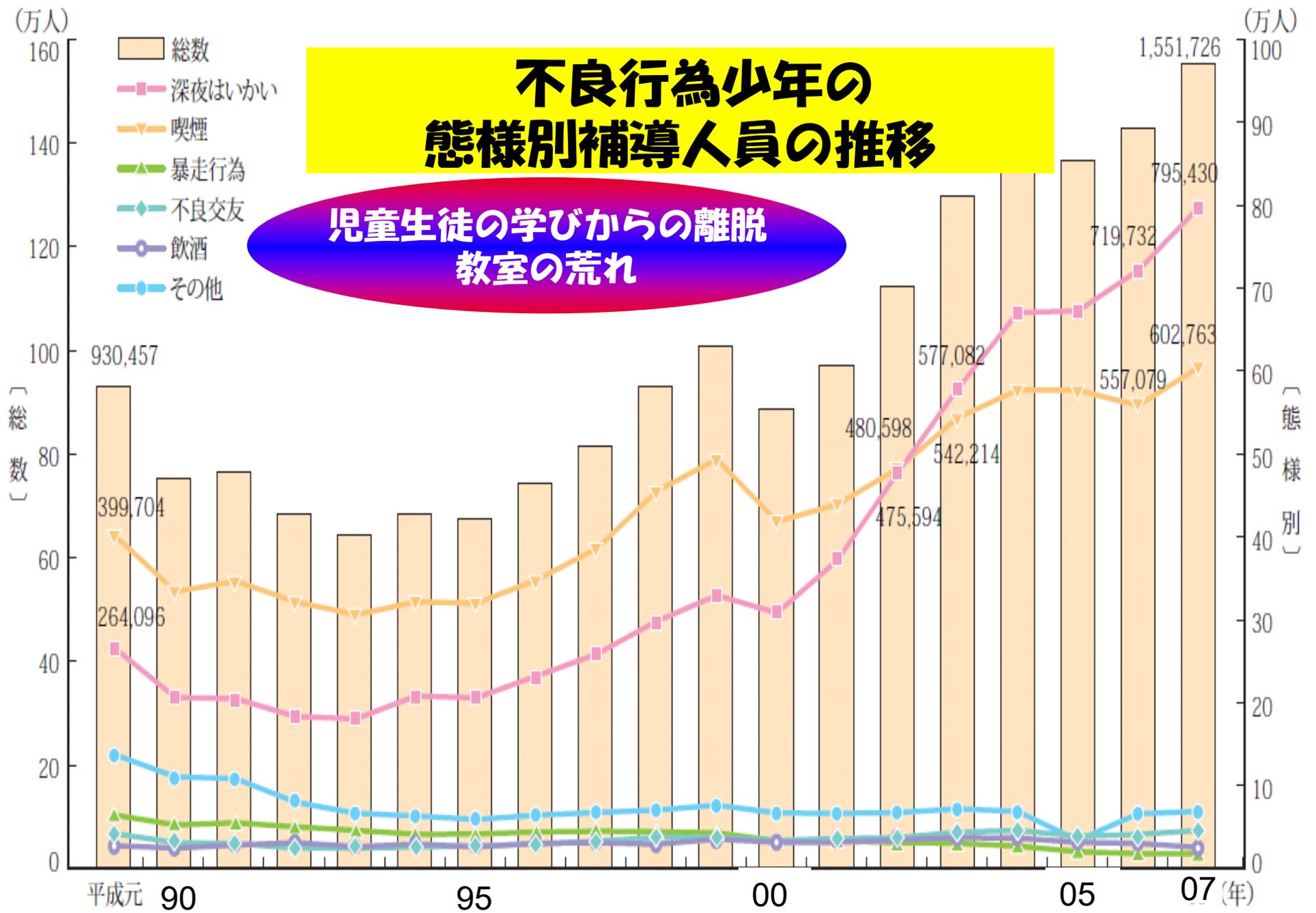


인천 공항 지하철 안전 시스템  
仁川空港地下鉄 安全システム



# いじめ・不登校等の増加





資料：警察庁調べ

内閣府「青少年の現状と施策(平成20年版 青少年白書)」(平成20年11月)より引用

特別支援教育の手厚さの理解  
各家庭の収入減少との関連も

2008 特別支援学校の学校数、幼児児童生徒数及び教職員数

学校数	幼児児童生徒数					教職員数（本務者）		
	計	幼稚部	小学部	中学部	高等部	計	教員数	職員数
校	人	人	人	人	人	人	人	人
1,026	112,334	1,663	34,258	26,044	50,369	83,824	68,677	15,147

2006 児童生徒一人当たり学校教育費

区分	学校教育費	
盲・聾・養護学校	10,000,000 <del>円</del>	盲・聾・養護学校児童生徒一人当たりの学校教育費は
	8,586,822	
小学校	889,404	
中学校	1,033,857	中学校の約8.3倍

# 日本の特別支援教育制度の概要

# 2007.4.1 特別支援教育制度実施

特別支援学校は、複数の障害種に対応する。  
特別支援学校は、センター的機能を発揮する。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校は、障害のある幼児児童生徒の教育を実施する。

特別支援教育  
コーディネーターの指名

校内委員会の  
設置

個別の教育支  
援計画の作成

特別支援学校  
センター的機  
能の活用

特別支援教育 Inclusive Education の実施

# 特別支援教育コーディネーターの指名

課題解決へ向けた筋道

校内(学年、学級、  
管理職、保護者)

校外(医療・福祉機関、  
盲・聾・養護学校、  
相談機関)

通信の発行、HPの活用

進路開拓、地域資源の確認  
ネットワーク会議への参加

- ・ マネジメント
- ・ 連絡・調整
- ・ 情報収集
- ・ 広報活動
- ・ ネットワーク

- ・ 校内や関係機関との連絡調整
- ・ 保護者に対する相談窓口
- ・ 校内委員会での推進役



# 校内委員会の設置

## 【児童生徒の実態把握】

- ・担任の気付きや保護者の申し出
- ・学習面や行動面での困難さ
- ・児童生徒に関する情報収集

## 【支援体制の検討】

- ・ティーム・ティーチング (TT)、個別の指導やグループ指導、放課後を活用した指導等の検討
- ・個別の教育支援計画の策定の連絡調整

## 【担任へのアドバイス】

- ・指導や支援の仕方
- ・担任に対する相談
- ・個別の指導計画、個別の教育支援計画の策定



## 【関係機関との連携】

- ・特殊教育センター、教育研究所
- ・盲・聾・養護学校
- ・医療・福祉、労働機関
- ・相談機関 ・教育委員会等

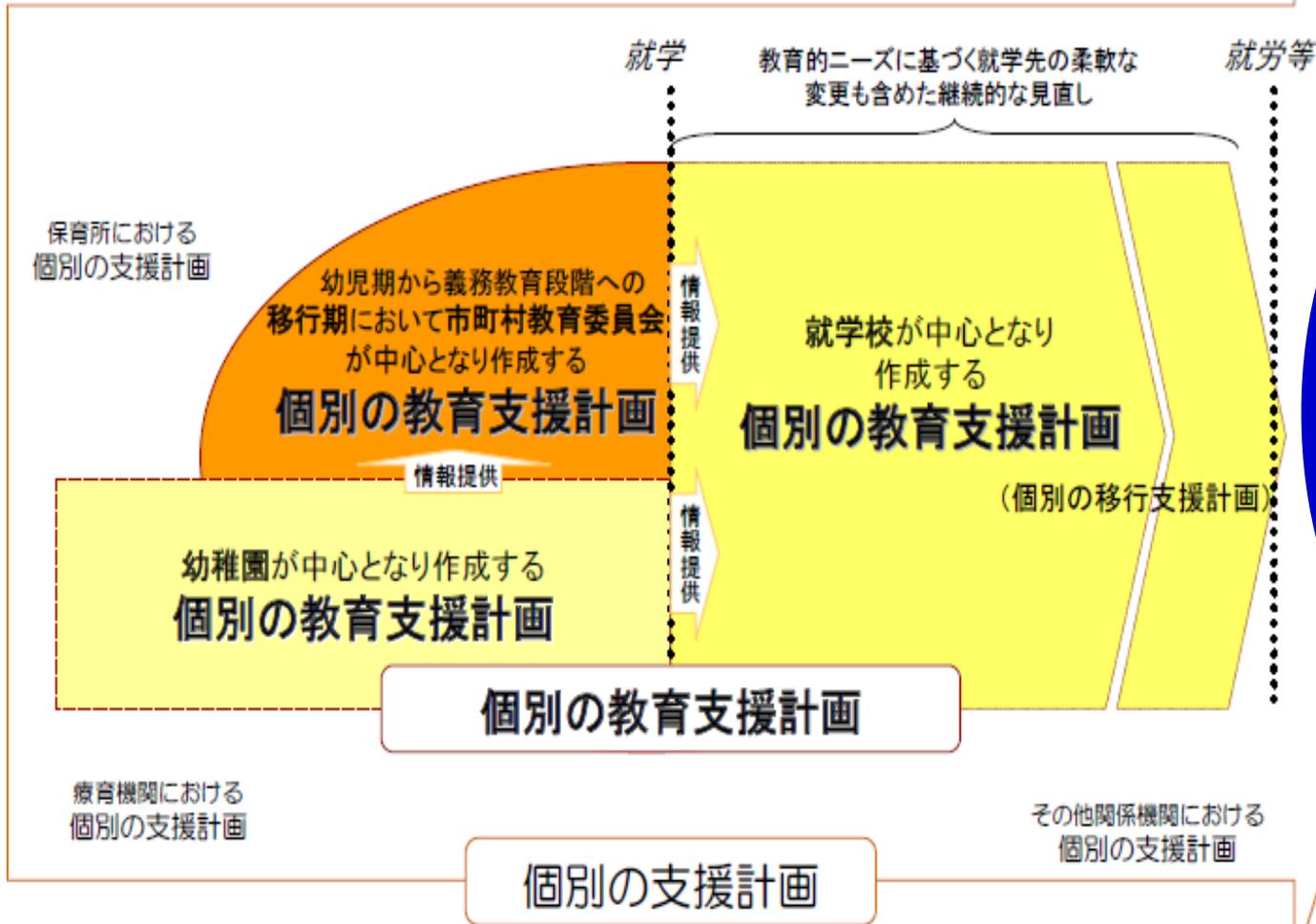
## 【家庭や地域社会との連携】

- ・特別支援教育の理解、啓発
- ・PTAや地域を対象の研修会
- ・先進地域の情報の収集

## 【校内研修の充実】

- ・LD、ADHD、高機能自閉症等を含めた障害のある児童生徒の理解と対応
- ・具体的な指導及び支援の在り方

# 個別の教育支援計画について

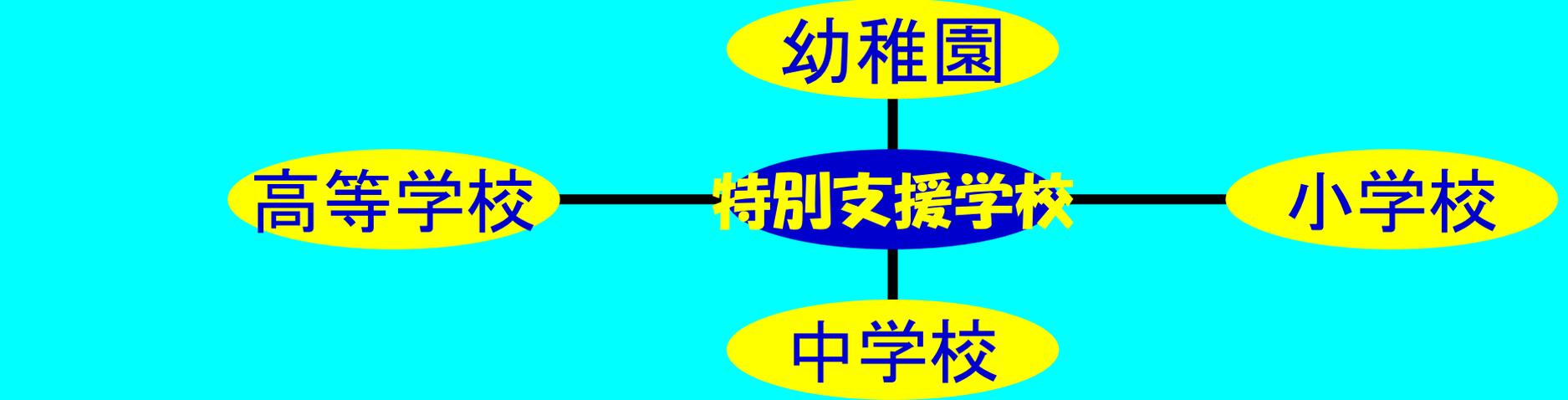


**教育の場の  
決定は、  
市町村教育委員会**

**その選択は、  
保護者の  
意見聴取による**

参考:「個別の支援計画」と「個別の教育支援計画」の関係については、「個別の支援計画」を関係機関等が連携協力して策定するときに、学校や教育委員会などの教育機関等が中心になる場合に、「個別の教育支援計画」と呼称しているもので、概念としては同じものである。

(平成17年12月「特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申)」より)



# 特別支援学校 センター的機能

**教員への支援機能**  
「課題のある児童生徒の指導に  
困っている先生を支援します！」

**関係機関等との連絡・調整機能**  
「関係機関と連携することができる  
ように連絡・調整をします！」

**相談・情報提供機能**  
「児童生徒についての相談や  
指導に関する情報を  
提供します！」

**研修協力機能**  
「先生や保護者の方々の  
研修に協力します！」



**児童生徒等指導・支援機能**  
「教育的なニーズを把握して  
適切な指導を行います！」

**施設・設備提供機能**  
「障害のある方の余暇や生涯学習、  
交流活動を支援します！」

# 特別支援教育の指導の基本

ほめる  
教育



よし、良くやった!



やれば出来るよね

努力

自己評価が  
高まる

夢に向かって  
頑張るぞ!

聞き入れる  
姿勢

自己有用感・  
自尊感情の  
高揚

希望

やる気



# 障害のある子どもの指導の基本

普通に  
自分の名前を書く

---

目をつぶって  
自分の名前を書く

できることを  
探す



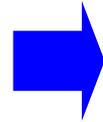
恵庭花子

---

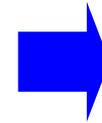
恵庭花子

目が見えなくても字を書くことができる

易しい概念  
覚えた字

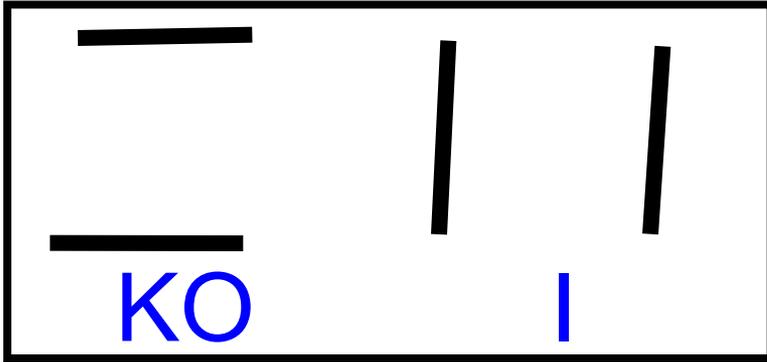


発展した概念  
新たな字



複雑な概念  
新たな知識等

I KO RI NI KE TA SHI MO  
| | 二 | | に け た し も



KO I 鯉



KO I 恋 사랑

a me re fu u i ni ku



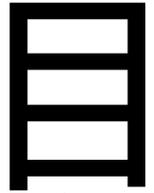
Eye



An idea of Mr. ISHIKAWA



Japanese letter



a me

Rain

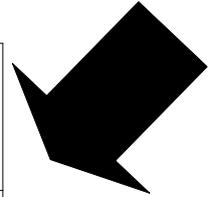


fu re

Fall



me

# Japanese nursery rhyme

a me

Rain

a me

Rain

fu re

Fall

fu re

Fall

a ni

older brother

ni ku

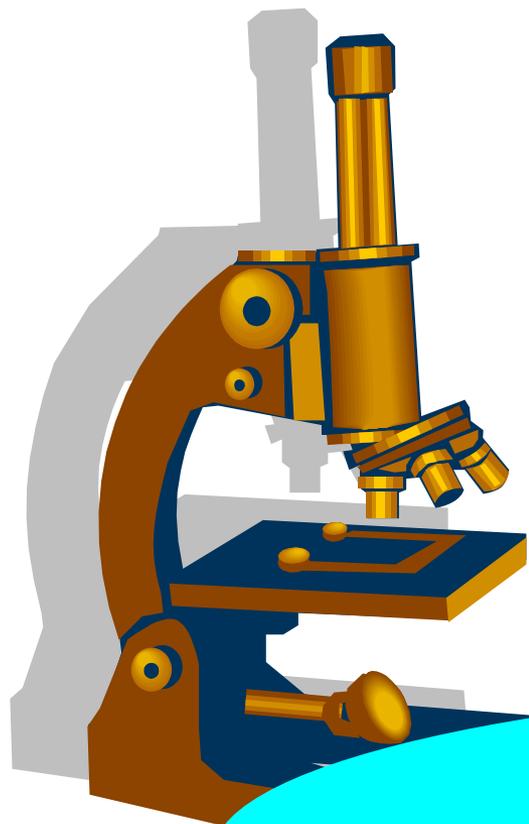
Meat

ku u

eat



# 特別支援教育は、 教育の原点



障がいのある子どもの  
先生は  
できることを  
一生懸命、探す

子どもは  
先生は一生懸命に  
探している

子どものいいところ探し

# 日本の特別支援教育現況の課題

全ての幼稚園、小学校、中学校、高等学校への  
特別支援教室Resource Roomの設置

特別支援教育による生徒の卒業後の就労の場の確保

教師の専門性の確保

センター的機能の発揮に係る専門性

- ①特別支援教育の各障害種別に係る専門性
- ②幼・小・中・高の各教科指導に係る専門性

# 全ての幼稚園、小学校、中学校、高等学校への 特別支援教室Resource Roomの設置

特別支援学級及び通級指導教室の設置 小学校

区分	2006年度	2007年度	2008年度
設置率	64.90%	67.10%	69.30%
小学校総数	22607校	22420校	22197校
設置総数	14681校	15051校	15391校

特別支援学級及び通級指導教室の設置 中学校

区分	2006年度	2007年度	2008年度
設置率	66.70%	68.90%	71.00%
中学校総数	10190校	10150校	10055校
設置総数	6797校	6989校	7135校

## 特別支援学級・通級による指導 制度から 特別支援教室Resource Room制度

特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申) 平成17年12月8日 中央教育審議会

**特別支援  
教室 I**

ほとんどの時間を特別支援教室で特別の指導を受ける形態。

**特別支援  
教室 II**

比較的多くの時間を通常の学級で指導を受けつつ、障害の状態に応じ、相当程度の時間を特別支援教室で特別の指導を受ける形態。

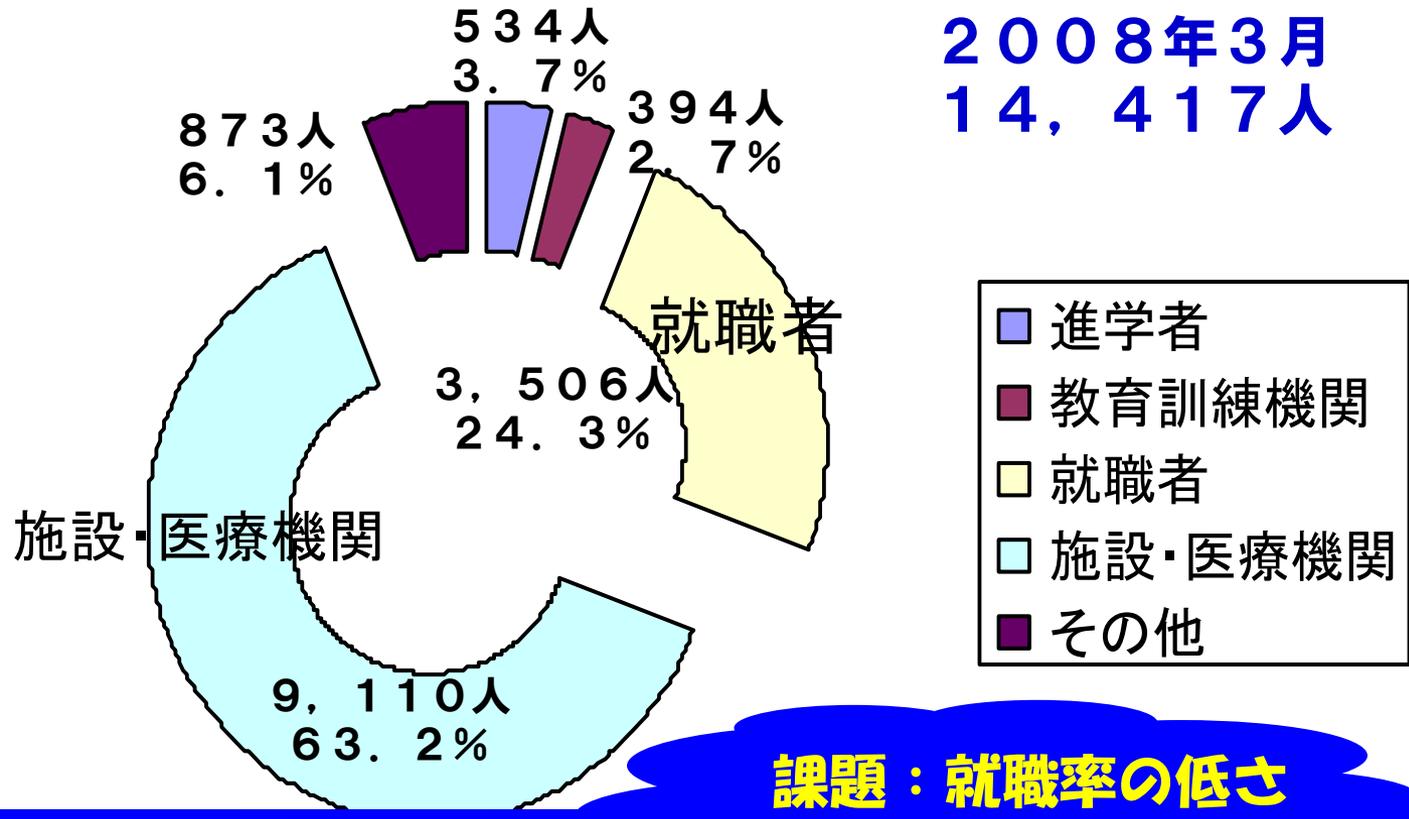
**特別支援  
教室 III**

一部の時間のみ特別支援教室で特別の指導を受ける形態。

# 特別支援教育による生徒の 卒業後の就労の場の確保

## 特別支援学校高等部卒業生の進路

2008年3月  
14,417人



課題：就職率の低さ  
24.3%

# 教師の専門性の確保

## 特別支援学校免許状保有率

平成20年5月1日現在

特別支援学校教諭の  
免許所有≒70%

特別支援学級教諭の  
免許所有≒30%

特別支援学級教諭  
5年以下≒55%

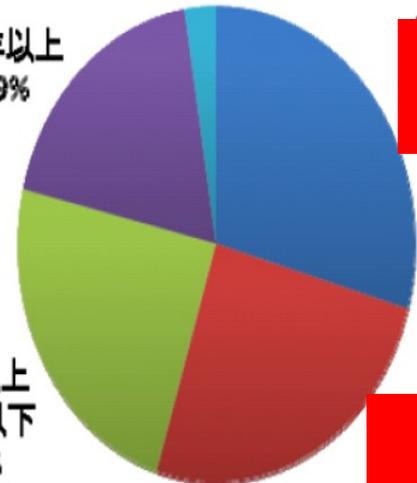
(全体)

項目 障害種	特別支援学校教諭等 免許状保有者						特別支援学校教諭等 非免許状保有者						合計 人数(人)
	当該障害種		自立教科等 (当該障害種)		合計		他障害種		自立教科等 (他障害種)		その他		
	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	
視覚障害教育	898	32.1%	609	21.8%	1,507		719	25.7%	2	0.1%	572	20.4%	2,800
聴覚障害教育	1,879	47.0%	17	0.4%	1,896		1,113	27.8%	3	0.1%	988	24.7%	4,000
知的障害教育	25,030	71.9%	14	0.0%	25,044		453	1.3%	11	0.0%	9,303	26.7%	34,811
肢体不自由教育	8,964	69.9%	114	0.9%	9,078		228	1.8%	5	0.0%	3,517	27.4%	12,828
病弱教育	1,922	71.4%	2	0.1%	1,924		57	2.1%	0	0.0%	712	26.4%	2,693
合計	38,693	67.7%	756	1.3%	39,449		2,570	4.5%	21	0.0%	15,092	26.4%	57,132

無回答  
3%

11年以上  
19%

6年以上  
10年以下  
24%



(2) 特別支援学級担当教員の特別支援学校教諭等免許状保有率(各年度とも5月1日現在の割合)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	31.4%	32.0%	32.7%	34.2%	
中学校	25.4%	26.0%	26.4%	28.6%	
合計	29.5%	30.2%	30.8%	32.4%	

# 앵무새 도시의 새로운 시도 雄武町の新たな試み



유빙



健全育成

教育分野  
学力・道徳・体力  
向上対応

育成分野の  
連携の工夫

特別支援教育

保健分野  
障害幼児  
就学対応

福祉分野  
不登校児  
対応



雄武町立中学校長  
長野藤夫氏

合同校長会  
一貫的教育

幼稚園長

学校段階の  
連携の工夫

高等学校長

特別支援  
教育対策

小学校長

特別支援学校の  
センター的機能活用

中学校長

# 日本の 特別支援教育の 今後の予想

特別支援学校

小学校・中学校の通常の学級

特別支援学級

通級指導教室

센터적인 기능  
センター的機能

ギフテッド  
外国人児童生徒

不登校・虐待関係等を含めた  
特別の教育的ニーズへの対応

特別支援学校

幼稚園・高等学校  
小学校・中学校の通常の学級

特別支援教室

特別支援学級  
通級指導教室

個別の  
教育支援計画の  
作成

個別の  
指導計画の  
作成

韓国の  
皆様方と  
障害児のために  
お祈り申し上げて  
おります